ご家族の皆さんから見たー早期発見のポイントー

～こんなことが増えていませんか？～

1. 同じことを繰り返し何度も言ったり聞いたりする
2. 財布や大事な物を盗られたと騒ぐ
3. 身の回りのことにだらしなくなった
4. 計算間違いが多くなった
5. 置き忘れやしまい忘れが多く、いつも探し物をしている
6. 今日の日付けがわからない
7. 時間をよく尋ねる
8. 最近聞いたことなのに話の内容を忘れている
9. 物の名前が出て来ない
10. 昔の話を何度も繰り返す
11. 話が、あちこちに飛び、訳のわからない内容になる
12. 質問に対する答えがかみ合わない
13. いつもの道なのに迷ってしまい家に帰れないことがある
14. 些細なことで怒ったり泣いたりする
15. 季節にそぐわない服を着ている
16. 買物に行っても同じものばかり買ってくる
17. 買物は大きなお札ばかり使い、財布が小銭でいっぱいになっている
18. 料理の味付けがおかしくなった
19. 夜中に急に起き出して騒ぐ

ご家族の様子に上記のような事が増えていませんか？当てはまることが多

ければ、認知症のサインかもしれません。

先ずは、お近くの地域包括支援センターやかかりつけ医に相談してみましょう。

**（注意）**

**老化によるもの忘れは、食事したことは覚えているが、何を食べたかを思い出せない。しかし、多くの場合ヒントをもらえば思い出すといわれています。**

**認知症によるもの忘れは、食事したことそのものを記憶していない。だから、ヒントをもらっても、わかりません。ただし、うまく話のつじつまを合わせることができる場合もあるので、判断には注意が必要です。**